

青総探究ジャーナル vol.1

～フレッシュマンキャンプ編～

発行日：2026年6月10日 執筆：廣田大樹

産業社会と人間って何をする？

産業社会と人間は、一年次で必修の授業です。社会人として必要な能力や態度、職業観や自分の在り方生き方について考えます。自己探求から、青総ならではの多彩な選択科目を履修するために将来の自分を考えていきます。

1日目

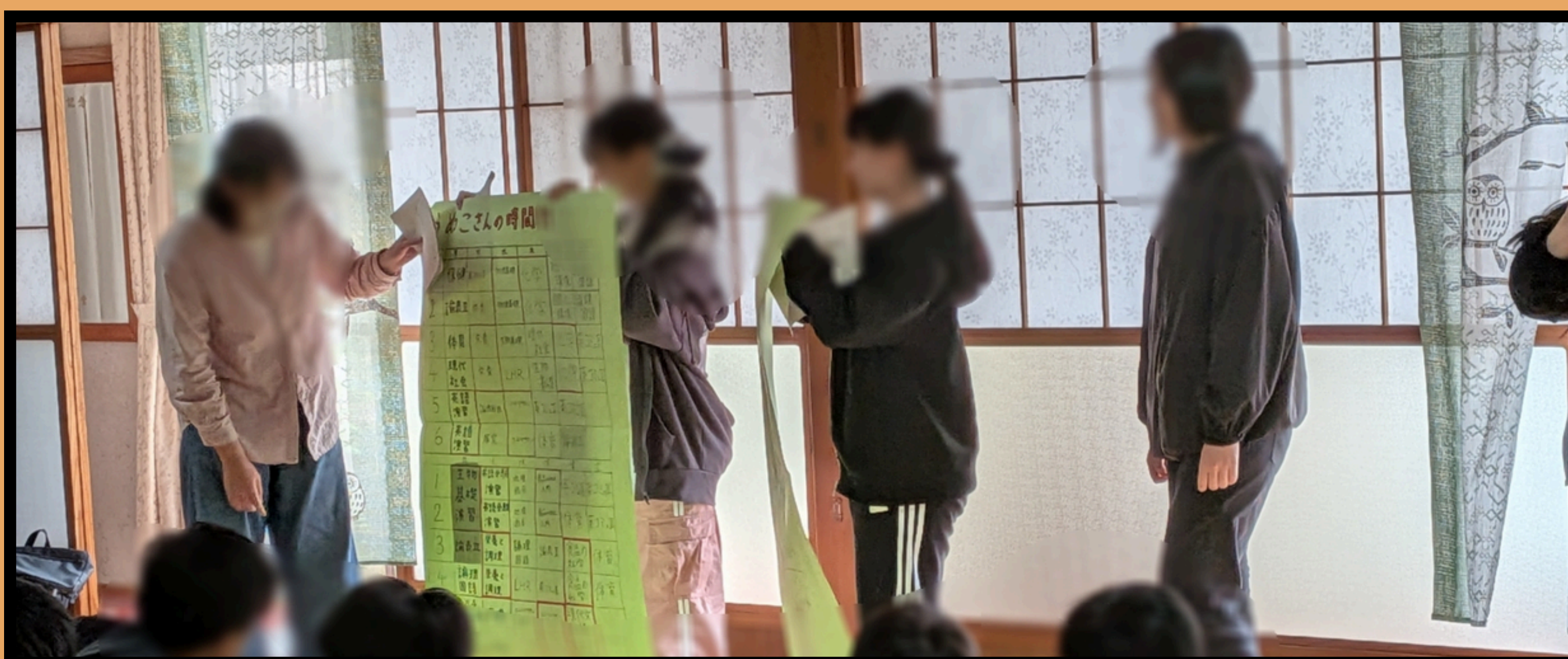
初日は開校式を行った後、各宿坊にて産業社会と人間の授業を行いました。クラスメイトとコミュニケーションをとる「二者択一ゲーム」を実施したのち、御嶽神社に参拝をしました。その後は時間割作成の方法とその内容を確認するワークを行い、班ごとに時間割作成を実施していききました。



2日目

2日目には発表準備の後、クラス内発表を行いました。個性豊かな模造紙と表現豊かな発表の中で、よく練られた時間割がすべての班で見られました。モデル生徒の特徴と進路先をよく読み、班員と熟考した姿が思い浮かべられるほどでした。

クラスの中で代表班に選ばれた班は、後日本校視聴覚室にて学年全体発表を行います。ブラッシュアップされた発表を次回の探究ジャーナルに掲載しますので、お楽しみに！



生徒の声

- ・モデルの時間割を作成してみて、自分の時間割を考える時は自分の将来ややりたいことをよく考えてから、その内容にあった授業を選ぶことが大切だと学びました。
- ・学んだことは、青梅総合の時間割についてもですが、仲間たちと一つのこと集中して話し合うことの大切さも学びました。

フレッシュマンキャンプへ！

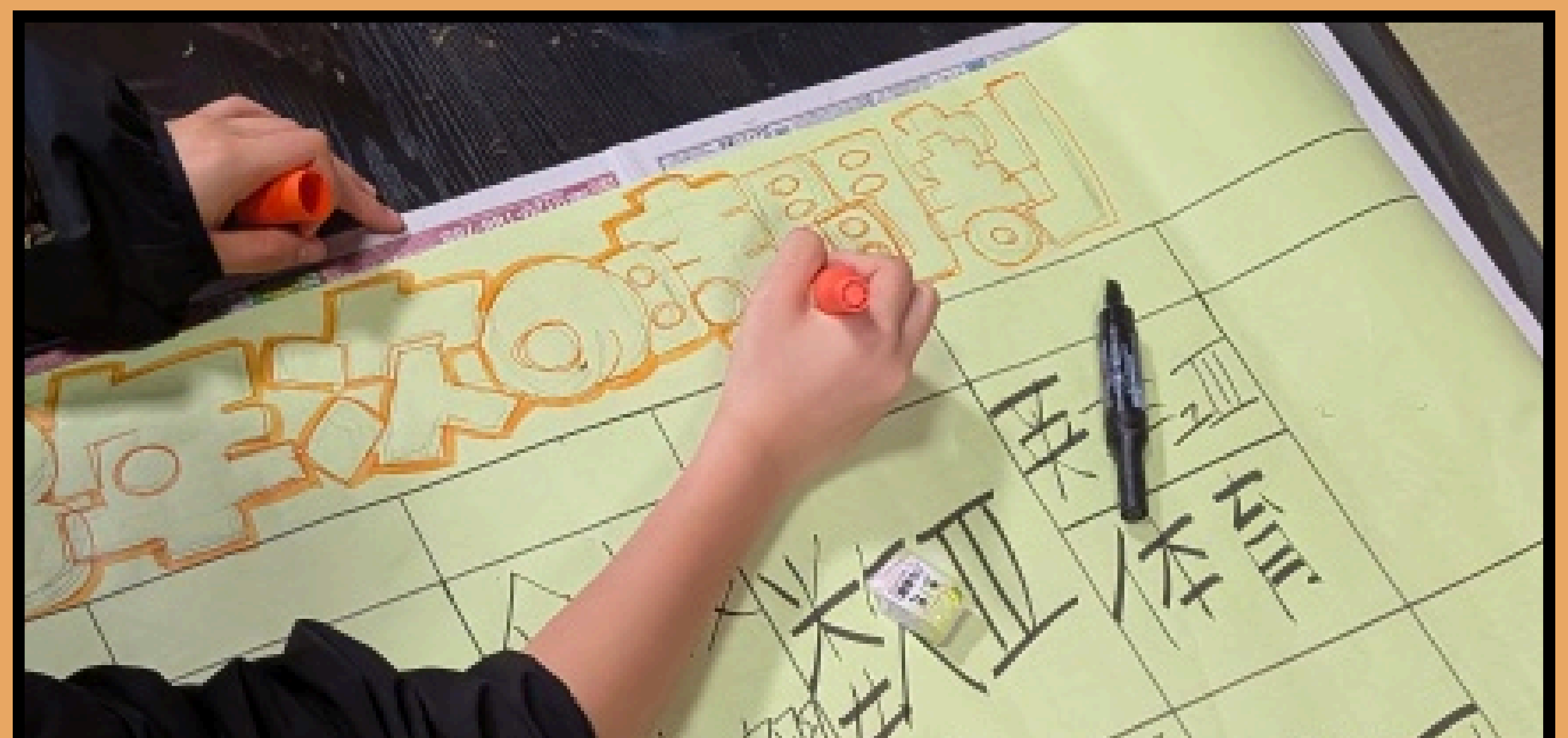
本校では4月末から5月頭頃に「フレッシュマンキャンプ」を行い、青梅市御嶽山の宿坊にクラスごとに宿泊します。本年度は5月7日、8日で実施しました。

ここでは仲間とのコミュニケーションを図りながら青梅総合の多彩な選択科目を履修していく仕組みを学んでいきます。また、職業人講話として宿坊の方（神主の方）に普段は聞くことのできない貴重なお話をさせていただき、職業観を育成していきます。

一番のメインイベントは「8人のモデル時間割」作成とその発表です。生徒たちは5名ほどの班に分かれて、8人の架空生徒から一人を選び活動を行うます。その子の進路や要望（設定）を叶えるためにはどのような選択授業をとっていくべきか、班員で考えながら「自分の時間割」作成のための練習をしていきます。

最終日にはクラス内で発表会を行い、優秀作品を一つ決めて、後日学年全体発表会を実施します。

仲間との仲を深めつつ、青総選択科目の仕組みを理解する行事となっています！



担当より

晴天という恵まれた天気より始まったフレッシュマンキャンプでした。生徒たちは楽しく青総の時間割を学びながら仲を深めており、その姿は青春そのものでした。

今後は自分自身と向き合い、進路選択へ向けた授業が展開されていきます。今後の探究ジャーナルにて紹介していきますので、よろしくお願い致します。